

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020090

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会 計 区 分	1 一般会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	23 多様な交流の促進	事業優先度	A	
単位施策	2 地域間交流の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	地域間交流推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	9 産業振興課	
事業指標	交流団体数		12 教育委員会教育振興課	
事業目標	4団体(武雄市、益子町、札幌雄武会、東京雄武会)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	無	
住民協働	有	関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売
	事業費(千円)	7,957	1,557	1,600	1,600	1,600
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,500	300	300	300	300
一般財源	6,457	1,257	1,300	1,300	1,300	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,399	1,399	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	279	279				
一般財源	1,120	1,120				
関 連 事 項	特定財源の名称 ふる郷ふれあい交流会 参加会費 【評価・実績】	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 ※前年度評価結果 B 継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4団体	4団体	4団体	4団体
		年度達成率		0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	18%	18%	18%	18%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	地域間交流推進事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	企画調整係長	大水 寛仁

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既存の交流団体との交流継続								
【抱える課題やニーズは】	行政主導の交流が多い中、民間における交流を深めていくことが望ましい	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	行政主導によらず、民間の自発的な交流をさらに発展させる	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4団体</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4団体</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値	4団体	実績値	4団体	達成度	100.0%
目標年度	平成25年度										
目標値	4団体										
実績値	4団体										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	既存地域・団体との交流の継続により、地域経済の活性化、ふるさと意識の向上を図る	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成25年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	ふる郷ふれあい交流会の開催 武雄市・益子町との交流 東京雄武会・札幌雄武会との交流	産業観光まつりの開催に際し、ホテル日の出岬を会場に、佐賀県武雄市・栃木県益子町・札幌雄武会・東京雄武会の方々と町民が一堂に会し、交流を図った 佐賀県武雄市物産まつりや益子町産業祭に参加、人的交流や特産品のPR、参加経費等の支援を行った 毎年開催される「ふるさと会」に参加し、特産品の提供等を行った									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存地域・団体との交流は、長い歴史の中で育まれてきた経緯があり、行政が関与してさらに発展させることも必要であるが、民間主導にシフトしていく視点も重要である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおりの事業展開となっており、交流団体数、交流者数も維持され、また、民間での交流も継続している
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会については、参加者から会費を徴しており、効率的な実施に努めている。武雄市・益子町との交流についても、必要な助成支援にとどめているが、人的交流(雄武町から武雄市への参加者)を拡充した
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

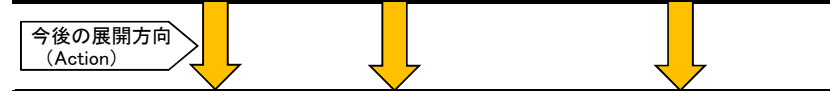
公平	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会への参加については、広く町民に周知するとともに、参加の機会を提供しており、参加者からは会費を徴しているため公平と判断する
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりの事業展開となっており、地域に根ざした地域間交流が継続されている		



<p>継続/拡充</p> 地域間交流を民間においても推進していく仕組みを模索しつつ、当面は行政主導で継続し、四半世紀を超えて継続している武雄市との交流については、友好関係を深化すべく新たな拡充施策を検討する必要がある		
---	--	--

- ※展開方向の区分
- 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止